

平成30年9月定例教育委員会会議録

平成30年8月28日 定例熊谷市教育委員会を教育委員会室に招集する。

- 出席者
野原 晃、西山 富由紀、加藤 道子、齋藤 洪太、本塚 雄一郎
- 出席事務局
教育次長 小林 教子
教育総務課長 田島 斉
教育総務課
保健給食担当副参事 馬場 伸夫
学校教育課長 渋谷 昌美
社会教育課長 鶴田 敏男
社会教育課文化財保護・
市史編さん担当副参事 吉野 健
中央公民館長 森田 安彦
文化センター所長 田中 博
教育総務課副課長 田谷 憲司
教育総務課主幹 増田 彩子

13時29分 9月定例教育委員会開会

教育長から、平成30年9月定例熊谷市教育委員会の開会の宣言があり、傍聴希望者1名の入室が許可された。

8月定例教育委員会の会議録については、出席委員全員の承認を得た。教育長が、本会議の会議録の署名人に、本塚委員を指名した。

教育長から、報告第9-3号「9月市議会定例会における教育委員会関連の議案の概要について」は、9月市議会定例会の告示前であることから非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開で行われることに決定した。また、傍聴人がいるため、この件については、一番最後の報告とすることになった。

日程第1(報告第9-1号) 寄附申出について

教育総務課長から、7月11日から8月10日までに、ふるさと納税で「熊谷教育の推進のため」として、5件、計7万円の寄附申出、市内在住の匿名の方から「教育振興のため」として、佐谷田小学校、江南北小学校へ各10万円ずつ、計20万円の寄附申出、さらに、県外在住の匿名の方から、同じく「教育振興のため」として、吉岡小学校、吉岡中学校に、各200万円ずつ、計400万円相当の備品の寄附申出があったとの報告があった。また、文化センター所長から、県外在住の匿名の方から、「市立図書館のため」として100万円、市内在住の匿名の方から「閲覧室の充実のため」として1万円の寄附申出があったとの報告があった。

日程第1（報告第9－2号）9月教育委員会行事予定について

教育総務課長から、次回の10月2日開催予定の10月定例教育委員会は、妻沼西中学校での開催を予定しており、終了後には、同校での建築基準法に適合しないブロック塀を撤去した場所及び、別府公民館での「幡羅官衙遺跡群 特別展」と遺跡群の視察を予定しているとの報告があった。

日程第2（その他）後援等承認決定した事業一覧について

教育総務課長から、7月16日から8月15日までに、後援等承認決定した事業について報告があった。

日程第2（その他）平成30年度 全国学力・学習状況調査結果について

学校教育課長から、今年度の全国学力・学習状況調査結果は、限りなく「学力日本一」に近い結果となり、具体的には、全国平均点を超えた学校が、小学校29校中20校、中学校16校中8校、また、小学校では、全国で1位であった石川県の平均点を、7校が超えており、県内の20万以上の人口の都市の中では、さいたま市を除きトップという大変良い成績であったとの報告があった。

今後も、市教育委員会で作成している『学力日本一』を目指すスケジュール」を基に、市教育委員会と学校が一体となって、学力向上に取り組んでいくことが説明された。

（質疑）

西山教育長職務代理者から、全国のトップレベルにある自治体と熊谷市の違いは何かとの質問があり、学校教育課長から、例年成績がよい福井県では、教室に担任以外の補助員を複数おいている状況があるとの説明があった。また、今年度は、福井県の学校に、市内小学校の教員を1名研修させるため派遣しているとの報告もあった。

加藤委員からは、市内の学校間の格差の解消や、全国平均点を僅かではあるが下回る中学校の数学の底上げについても、考慮していくべきとの意見があった。

日程第2（その他）熊谷市立学校の適正な規模に関する基本方針に係る熊谷市立学校適正規模審議会からの答申について

学校教育課長から、教育長が、熊谷市立学校の適正な規模に関する基本方針に係る熊谷市立学校適正規模審議会からの答申を、本日、藤間審議会長から受けたとの報告があった。

日程第1（報告第9－3号）9月市議会定例会における教育委員会関連の議案の概要について

(非公開)

他には報告はなく、教育長の宣言により、平成30年9月定例熊谷市教育委員会を閉会した。

(14時26分 閉会)

署名 教 育 長 野 原 晃

委 員 本 塚 雄 一 郎